

食品安全委員会第962回会合議事録

1. 日時 令和6年11月19日（火） 14：00～14：10

2. 場所 大会議室

3. 議事

(1) 令和6年度食品安全確保総合調査課題（案）について

(2) その他

4. 出席者

(委員)

山本委員長、浅野委員、祖父江委員、頭金委員、小島委員、杉山委員、松永委員
(事務局)

中事務局長、及川事務局次長、藤田総務課長、古田評価第二課長、
浜谷情報・勧告広報課長、横山農薬評価室長、今井評価情報分析官、
寺谷評価調整官

5. 配付資料

資料1 令和6年度食品安全確保総合調査課題（案）について

6. 議事内容

○山本委員長 ただ今から第962回「食品安全委員会」会合を開催いたします。

本日は7名の委員が出席です。

それでは、お手元にございます「食品安全委員会（第962回会合）議事次第」に従いまして、本日の議事を進めたいと思います。

まず、資料の確認を事務局からお願いします。

○藤田総務課長 事務局でございます。本日の資料は1点です。

資料1「令和6年度食品安全確保総合調査課題（案）について」でございますので、御確認をお願いします。

○山本委員長 続きまして、議事に入る前に、「食品安全委員会における調査審議方法等について」に基づく事務局における確認の結果を報告してください。

○藤田総務課長 事務局におきまして、委員の皆様にご提出いただきました確認書及び現時点での今回の議事に係る追加の該当事項の有無を確認しましたところ、本日の議事について、委員会決定に規定する事項に該当する委員はいらっしゃいませんでした。

○山本委員長 確認書の記載事項に変更はなく、ただ今の事務局からの報告のとおりでよろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

○山本委員長 ありがとうございます。

(1) 令和6年度食品安全確保総合調査課題(案)について

○山本委員長 それでは、議事に入ります。

「令和6年度食品安全確保総合調査課題(案)について」です。

まず、研究・調査企画会議事前・中間評価部会座長の祖父江委員から説明をお願いいたします。

○祖父江委員 令和6年度食品安全確保総合調査課題(案)については、11月5日に開催いたしました令和6年度研究・調査企画会議事前・中間評価部会で審議いたしまして、資料1のとおり取りまとめました。

課題名は、1つ目が「食品安全に関する国民の意識の推移を把握するための手法の確立に向けた基礎的調査」、2つ目が「食品健康評価報告書の効率的な作成等に資する保存文書の電子化に関する調査」の2課題でございます。

詳細については、事務局の方から説明をしてください。

○寺谷評価調整官 それでは、お手元の資料1に基づきまして説明してまいります。

今回この令和6年度調査の追加の調査課題をお諮りするものでして、令和6年度優先実施課題、Ⅱの(2)のところにあります緊急性の高い調査に該当するものとして課題を設定するものとなっております。

では、3ページ目を御覧ください。調査課題名は「食品安全に関する国民の意識の推移を把握するための手法の確立に向けた基礎的調査」というものです。

概要です。概要は2つありまして、1つ目ですけれども、国民のリスク認知の実態を継続的に把握するための調査設計に向けた初期的検討です。食品安全委員会は、最新の科学的知見に基づきリスク評価を行っています。その一方で、昨今、ソーシャルメディアの普及もありアクセス可能な情報は増えており、多種多様な情報が氾濫しています。このため、

科学的に正確な食品安全の情報を判別することが困難となっており、国民のリスク認識と科学的知見を踏まえた実際のリスクとの間のギャップが懸念されています。

国民の安全で健やかな食生活を実現するためには、食品安全に係る消費者の理解増進を図り、行動変容につなげる必要があります。これに向けて、食品安全委員会はリスク管理機関と共にリスクコミュニケーションを効果的に推進していくことが極めて重要です。そのためには、最新の科学的知見に基づく情報を正しく伝えることはもとより、食品安全に関する様々なハザードや話題について、国民の認知や理解の状況及びその経時的な推移について継続的に把握することが求められています。

食品安全委員会は、これまでも食品安全モニターに対するアンケート調査や、平成19年度には「リスクコミュニケーションの評価手法等に関する調査」、令和2年度には「食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査」などを行ってきました。

しかしながら、事件事故等による意識の変化や新しいハザードへの関心の程度や、リスクは高いものの国民の関心は大きく下がっている可能性のあるハザードの把握等ができていないとの指摘もありまして、幅広い国民における食品安全に対する認知やリテラシーについて、経時的に把握する手段が欠けていたという懸念があります。

このような状況を踏まえて、情報提供やコミュニケーションの優先度が高い食品安全上の話題を明らかにし、社会的な関心も考慮したリスクコミュニケーションの基盤となる情報を得るため、食品安全に関する国民のリスク認知やリテラシーの実態を経時的に把握できる調査の適切な設計が不可欠です。これに向けて、令和6年度には、必要な課題や方向性を明らかにするための国内外の既存の関連調査の情報整理と予備調査の提案を行います。これが（1）の部分です。

（2）としまして、各種意見交換会の効果測定のためのアンケート調査の改善です。現在、食品安全委員会や地方自治体が開催する各種意見交換会等で利用されているアンケート調査について、こちらの改善案を提案するものとなっております。こちらが1つ目のものです。

では、次のページを御覧ください。2つ目です。調査課題名としましては「食品健康評価報告書の効率的な作成等に資する保存文書の電子化に関する調査」です。

概要です。食品安全委員会においては、食品安全基本法の規定に基づいて「食品健康影響評価」を行っており、食品健康影響評価は同法第24条の規定に基づき様々な法律に基づく基準の設定、改廃時に諮問される場合のほか、同法第23条第1項第2号に定める自らの意思に基づき、食品健康影響評価を行っております。これらの評価の数は令和6年4月1日現在で3,279件に及んでいます。また、当該評価を作成するために食品安全委員会及び担当の専門調査会が開催されていることから、それらに関連する保存文書は膨大な数に及んでいます。

これらの保存文書は公文書等の管理に関する法律及び同法第10条第1項に基づいて制定されている行政文書管理規則に基づいて保存管理されています。しかしながら、これらの

文書は紙媒体で保存されているため、過去の申請資料や食品健康影響評価報告書及び関連資料の検索や再利用等の効率が必ずしもよくない状況にあります。

一方で、農薬取締法の改正により農薬再評価制度が開始されるなど、新たな食品健康影響評価報告書の作成において、過去の資料や議論の経緯などを確認することも想定されます。また、DXにより食品健康影響評価に関する業務の効率化と高度化を図っていくことが求められています。

近年は、作成文書が電子媒体で保存されているケースが多いが、過去の作成資料は紙媒体で保存されていることが少なくないことから、その利活用についてはいまだに職員の手作業による確認作業によらざるを得ない状況にあります。

本課題においては、将来の業務プロセスの電子化を図る際に有益となる紙媒体の電子化の作業において検討しておくべきこと、電子化に併せてキーワードの付与やデータベース化するなどを他の組織の例を調査するとともに、食品安全委員会の業務の特性に応じて最適化した電子化の在り方についての調査を行います。並行して、試行的に食品安全委員会に保存されている紙文書の電子化を図り、電子化によって作成されたファイル及びその保存場所のファイルサイズ、ファイル名、構造等の使い勝手について食品安全委員会の職員の意見を踏まえて電子化された保存文書の利用率の改善を図ります。あわせて、今回試行的に電子化した紙媒体以外の食品安全委員会が保有する紙媒体の保存文書を電子化する場合の標準的な手順書等を作成し、今後の紙媒体で保存されている保存文書の電子化の推進及びその利活用向上に役立てることを目的とするものです。

説明は以上となります。

○山本委員長 ありがとうございます。

ただ今の説明の内容あるいは記載事項について、御意見、御質問がございましたら、お願いいたします。

私から1つ確認なのですが、2番目のもののタイトルが食品健康影響評価報告書になっているのですが、影響が抜けていないですか。

○寺谷評価調整官 ありがとうございます。これは修正させていただきます。指摘ありがとうございました。

○山本委員長 では、修正をお願いいたします。

ほかにごいませんか。

そうでしたら、本件については、タイトルの修正が一部ありますけれども、案のとおり決定するというところでよろしいでしょうか。

(首肯する委員あり)

○山本委員長 ありがとうございます。

それでは、事務局は手続を進めるようお願いいたします。

(2) その他

○山本委員長 ほかに議事はありませんか。

○藤田総務課長 特にございません。

○山本委員長 これで本日の委員会の議事は全て終了いたしました。

次回の委員会会合は、来週、11月26日火曜日14時から開催を予定しております。

また、21日木曜日14時から「農薬第三専門調査会」が、22日金曜日10時から「プリオン専門調査会」が、来週、25日月曜日14時から「遺伝子組換え食品等専門調査会」が、それぞれ開催される予定となっております。

以上をもちまして、第962回「食品安全委員会」会合を閉会いたします。

どうもありがとうございます。